ハララキ集会　活動計画案

2021.11.4

ハララキ調査活動担当

日　時　　２０２１年１２月１５日（水）３・４校時
場　所　　二風谷小学校　体育館
児　童　　１７名
指導者　　全職員

１．活動名　　「ハララキ集会」

２．取り組みについて

　これまで、ハララキ集会に低学年のころから参加し多くの発表を目にしているので、児童はハララキ調査活動についてのねらいや発表の仕方については十分イメージできている。

　何を（内容）、どのように（調査方法）、効果的に発表するか（伝え方）を考えて、グループまたは学級で学習に取り組ませていきたい。

［発表者として］

　ハララキ集会での発表方法については、これまでもさまざまな工夫が図られてきた。その中でも、相手意識を持ち、どのような方法で表現、発表するとよりわかりやすく相手に伝わるのかを考え工夫をこらした発表になるよう臨ませたい。

［聞き手として］

　低学年は聞く活動が主になるので大変かと思われるが、例年自分の感想を持つことができている。１年生は「自分の感想を簡単に発表することができる」、２年生は実態に合わせメモ等も準備させるなどし、感想の他に「聞いてみたいこと」 へも広げさせたい。また、次年度は発表者となるので、積極的に集会へ参加しようとする意欲も育みたい。

［感想の観点］

　説明の仕方・発表からわかったこと・もっと知りたいなと思ったこと・自分の発表との比較など、学年に応じて事前に指導し集会に臨ませる。

３．集会の主な流れ

- 学級発表を経ての集会なので、発表後の質問・感想は他学級、保護者や地域の方からとする。
- 発表時間は、各グループ１５分程度とする。（各学級３０分程度）
- 質問や感想は、各学級の発表が終わるごとに行うこととする。

４．活動目標（めあてとして簡略化し、拡大印刷で掲示）

〇低学年

・発表をしっかりと聞く。

・発表を聞いて、自分の感想をもつ。

〇中学年

・聞き手を意識し、大きな声で発表する。

・他のグループの発表にも関心をもち、理解する。

〇高学年

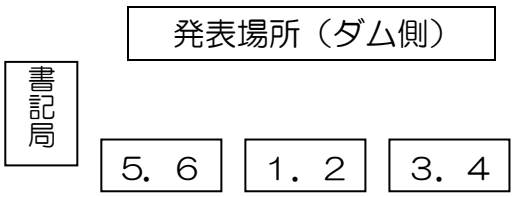
・聞き手を意識し、自分の考えを入れながら、わかりやすく発表する。

・他のグループの発表内容と比較しながら、自分の発表内容・地域の生活との関連性について考える。

５．活動の展開

集会の流れ	児童の動き	留意点
集会前 １０：２０スタート	整列　（児童会書記局が指示） 発表の準備	 司会：児童会書記局
１．はじめの言葉 （０．５分）	（児童会書記局）	
２．児童会長挨拶 （２分）	（児童会長挨拶）	
３．めあての確認 （１分）	（児童会書記局）	
４．各グループの発表 （質問・休憩を含め８０分）	３・４年生が発表する。 （児童会書記局） 発表についての質問をとる 次に感想を聞く	 （３・４年） 〇学級で３０分以内 〇感想　５分 →児童会書記局で事前に指導
目安　１１：００頃	休　　憩（１０分程度）高学年は準備	
	５・６年生が発表する。 （児童会書記局） 発表についての質問をとる 次に感想を聞く	 （５・６年生） 学級で３０分以内 〇感想　５分
５．感想発表（４分）	児童会書記局 ＊調査活動に協力していただいた講師の方へも聞いてみる。	→児童会書記局で事前に指導。 地域の指導者や保護者・参観者の感想を聞く。
６．学校長から（講評） （２分）		
７．終わりの言葉 （０．５分）	（児童会書記局）	

６．会場図



＊各グループの発表によっては、変更もあり（事前に連絡を）

７．評価（主に発言や発表、振り返りカードで行う）

〇低学年

・各グループの発表をしっかりと聞くことができたか。
・発表を聞いて、自分の感想をもつことができたか。

〇中学年

・聞き手を意識し、大きな声で発表することができたか。
・他のグループの発表にも関心をもって聞き、理解することができたか。

〇高学年

・聞き手を意識して、自分の考えを入れながら、わかりやすく発表することができたか。
・他のグループの発表内容と比較しながら、自分の発表内容・地域の生活との関連性について考えることができたか。

８．その他

（１）児童会の役割

①集会への案内状（地域へ）・・・１１/２６の自治会の週報で（担当）
＊保護者へは自由参観日の案内で（教務）
②集会の進行・・・書記局

（２）各グループ・学級の役割

①発表物の準備～発表の仕方を考え、工夫する。
（各グループ１５分程度又は、学級３０分程度）
②お世話になった講師の方へのお礼状など

（３）その他　　集会用「ふりかえりカード」の用意
老人会への案内（連絡）（教頭）